

LINE系スカット

タイトル:私に姪の子守を押し付けようとする兄嫁→ウチの前に姪を放置したが、姪が行方不明になり...

登場人物

ミヤビ:28歳。主人公、保育士の資格を持つ主婦。兄嫁の託児に悩んでいる

エイコ:35歳。ミヤビの兄嫁。娘のナツキをミヤビによく押し付けている。

タカシ:35歳。ミヤビの義理の兄。エイコの夫

ナツキ:5歳。エイコの娘。ミヤビの姪

シナリオ

エイコ:ちょっと、ミヤビさん

エイコ:ナツキの面倒を見られないってどういうことよ

ミヤビ:お義姉さん...

ミヤビ:私もパートとか、プライベートの予定とかあるんですよ

ミヤビ:そんなに毎日。ナツキちゃん預かれませんって

エイコ:はあ！子供がいないあなたに私が子育てをさせてやってるのよ！

エイコ:保育士の資格も持ってるんだから、その資格も活かせるでしょう！

エイコ:一石二鳥？いや、三鳥くらいじゃない？ねえ！！

ミヤビ:いや、そりゃ、親戚同士ですし預かるのはいいですよ

ミヤビ:でも、さすがに週7で預かって、夕食までウチで食べさせるのはどうかと...

ミヤビ:ナツキちゃんももう大きいですし、お手伝いもしてくれますけど

エイコ:お手伝いもしてくれるなら、問題ないじゃない

ミヤビ:いや、お母さんとたまにはご飯食べたいってすっごく寂しがってます

エイコ:え？

ミヤビ:だから、預かる頻度...

ミヤビ:もう少し減らした方がナツキちゃんのためにもいいかと

ミヤビ:一応、お聞きしたいんですけど

ミヤビ:お義姉さんお仕事でも始められたんですか？

ミヤビ:それとも、習い事とかやってて、ナツキちゃんの面倒がみられない？

エイコ:はあ、なんで私のプライベートをあんたにぶちまけないといけないのよ

エイコ:気持ち悪い義妹ね...

ミヤビ:いや、お義姉さん。専業主婦ですよ？

ミヤビ:なのに週7で子供を預けるって、なにしてるのかなって？

エイコ:うるさいわね！子供がいるって、それだけで大変なのよ！

エイコ:あなたに子育ての大変さを分かってもらうために預けてるのに！

エイコ:その言い分はなによ！お母さんにも、言いつけてやる！

ミヤビ:ああ、お義母さんは関係ありませんから、巻き込むのやめましょう

ミヤビ:余計に話がややこしくなる...

ミヤビ:とにかく、ナツキちゃんはお義姉さんのことを恋しがってますし...

ミヤビ:私も、今月からパート始めるから預かれません

ミヤビ:もう、私を頼るのはやめてください

エイコ:はあ！子無し義妹の分際で、なんて生意気なの！

ミヤビ: いや、子は授かりものです
ミヤビ: 宝である子供を他人に預けっぱなしにするのはどうかと思いますよ
ミヤビ: ナツキちゃんを預けたいのなら、お義母さまに頼んだらどうでしょうか？
エイコ: はあ、それができないから、アンタに頼んでるんでしょう？
ミヤビ: じゃあ、実家頼るかシッターでも雇ってください
ミヤビ: 私は、夕方の買い物がありますんでこれで！
エイコ: あ、ちょっと！待ちなさいよ！
ミヤビ: しつこいとブロックしちゃいますよ。それでもいいんですかあ～
ミヤビ: ナツキちゃんを預かってって、気軽にお願いできなくなっちゃいますねえ～
エイコ: わ、わかったわよ。もう、今日はこれで許してあげるわよ
ミヤビ: おわかりいただけて感謝、感激です。では！

数日後...

エイコ: ミヤビさん。ちょっと、ミヤビさん
ミヤビ: お義姉さん。こんな朝早くからなんですか
ミヤビ: 私、前にも言ったように今月から、パートなんです...
エイコ: え、それって...
ミヤビ: ナツキちゃんは預かりませんよ
エイコ: はあ、ふざけんじゃないわよ！私は友人とランチに行く約束をしてるの！
エイコ: その約束を反故にしろっていいたいの！
ミヤビ: いや、ならナツキちゃんも連れて行けばいいんじゃないかあ...
エイコ: 私たちが行くのは、あなたには縁のない高いイタリアンのレストランなの
エイコ: そこに、子供を連れて行けるわけじゃないでしょう！なんて、非常識な人なの！
ミヤビ: なるほど、私に相応しくない店に行く
ミヤビ: だから、そこに相応しくないナツキちゃんも私に押し付けるって訳ですね
エイコ: ちょっと！ナツキがイタリアンに相応しくないって、どういうことよ！
エイコ: 姪によくもそんなことがいえるわね
ミヤビ: いや、ナツキちゃんを連れていけないって行ったのはお義姉さんですが...
ミヤビ: すみませんが、今日は10時からパートのシフトが入ってます
ミヤビ: ナツキちゃんは預かれませんので
ミヤビ: お義母さんを頼るか、シッターでも依頼してください
エイコ: それができてれば、アンタに何て頼まないわよ
エイコ: とにかく、ナツキは預かってもらいますからね
ミヤビ: もう1度言いますね。私は、パートがあるのでナツキちゃんを預かれません
エイコ: ふん！そんなのあなたのワガママじゃないのよ！
エイコ: そうしなかったら、どうなるかわかってるでしょうね？
ミヤビ: いや、どうなるんですか？見当もつきません
エイコ: 覚悟しときなさいよ！あなたを訴えてやる！
ミヤビ: はあ...。まあ、預かれないでことで、私はもう行きますね
ミヤビ: さようなら...

数時間後...

エイコ: ちょっと、ミヤビさん。なんで、LINEにでないのよ！
エイコ: それに、電話もしたのに無視しやがって！
ミヤビ: え、今日は私、パートがあるって言いましたよね
ミヤビ: 仕事してるのに、電話やらLINEに出られるわけじゃないじゃないですか
エイコ: ちょっと待って。じゃあ、ナツキはどうなってるの？

ミヤビ: へ、なんでナツキちゃんが出てくるんですか？
エイコ: あなたが預からないって、ダダをこねるからいけないのよ！
エイコ: だから、ナツキをあなたの家の前に置き去りにしたの！
ミヤビ: ええ！ちょっと待ってください。それって、何時ごろの話です？
エイコ: たしか、11時ごろだったかしら
ミヤビ: 待ってください。その時間、私は家にいません
エイコ: それってどういうことよ！
ミヤビ: 何度も言ってますけど、私は今日、パートに行っていました
ミヤビ: その時間帯は仕事で、家にいないんですよ！
エイコ: え、じゃあ。ナツキは...
ミヤビ: わかりません。早く探さないと、大変なことになる！
エイコ: ふざけんじゃないわよ！もとはといえば、アンタのせいでしょう！
ミヤビ: はあ？
エイコ: あんたがパートなんかに行くから、ナツキが行方不明になったのよ！
エイコ: ふざけん！こっちが頭下げて預かってって頼んだのに！
エイコ: その気持ちを踏みにじりがあって！
ミヤビ: あ、頭を下げて預かってって...。いつもなんか、偉そうでしたよね？
エイコ: とにかく、絶対にナツキを見つけ出さないよ！
ミヤビ: 今はケンカなんてしてる場合じゃありません
ミヤビ: 手分けしてナツキちゃんを探して、警察にも相談しに行きましょう
ミヤビ: 万が一ってこともありますし
エイコ: 警察なんて冗談じゃないわ！ことを大きくしてどうするの？
ミヤビ: は、なににってるんですか!?
エイコ: それでタカシさんにバレたら、私がタカシさんに叱られるじゃないのよ
ミヤビ: お義兄さんにバレるとか、そういうレベルの話じゃないですよ、もう！
エイコ: とにかく、私はこの後も用事があるの！
エイコ: あなたがナツキを見つけ出して世話をすればいい話！
エイコ: わかった？なんとしてもナツキを見つけ出して、責任もって世話しなさい
タカシ: ほう。それが、お前の本心か？
エイコ: は、なによ急に？
タカシ: すまないな、エイコ。いま、ミヤビさんとLINEを変ってもらったところだ
タカシ: 俺だよ。タカシだよ。
エイコ: え、タカシさん？なんで、ここに...
タカシ: 仕事が早く終わって帰って来たと思ったら、家の前でナツキが泣いてたんだ
タカシ: それで、慌てて理由を聞いたら...
タカシ: お前が、ミヤビさんにしよっちゅうナツキを預けてたのは知ってたよ
タカシ: でも、ここまで迷惑をかけてたなんてな
エイコ: そ、それは...。私にも用事があって...
タカシ: そうだな。そう思って、俺も彼女に頭を下げてナツキを預かってもらってた
タカシ: でも、それが間男と会うっていうなら話は別だ
タカシ: もう、ナツキにも会わせないし、俺はお前と離婚する！
エイコ: ちょっと待って。なんであなたがそれを！
タカシ: ああ...。いくらなんでも週7で義理の妹に娘を預ける女がいるか？
タカシ: 怪しいと思って、素行調査ぐらいするわ！
タカシ: そしたら見事に黒...。呆れたし、もう弁護士にも相談済みだよ...
タカシ: お前の実家にも、もう離婚の話はつけてある
タカシ: どうぞ、心おきなく愚娘を捨ててくれとのことだ
エイコ: ちょっと待ってあなた！不倫なんて、なにかの間違いよ！
エイコ: 私はただ、親しい友達に会ってただけで...

タカシ: へえ、週7でホテルに通う男がお前の親しい友達なのか
タカシ: 変った友達だな！ はは！
エイコ: そ、それは...
タカシ: じゃあ、家に帰ったらこれからのことをゆっくりと話し合おう
タカシ: ナツキもお前の帰りを待ってるからな。ちゃんと、帰ってこいよ
エイコ: はい。わかりました...

後日談

その後、お義姉さんはお義兄さんに離婚を言い渡され、ナツキちゃんの親権も奪われてしまいました。ついでに、彼女が情熱を傾けていた間男もトンズラ。
現在、お義姉さんは実家でパートをいくつも掛け持ちしながら、養育費と不倫の慰謝料を払う毎日を送っているそうです。逃げようとしても、ご両親がきっちり監視していてそれもできないんだとか。
私は現在、お義姉さんに託児を押し付けられることもなく、平和な毎日を過ごしています。まあ、子供が出来てせっかく始めたパートは辞めなきゃならないですけど。
ナツキちゃんもこの子の誕生を楽しみにしてますし、楽しく子育てをしたいと思います！